# たんちょう

JAくしろ丹頂
広報誌
vol.130
2018.8

JAくしろ丹頂

Aコープ「テント市」盛況 !!（つるい店前 7/19）

CONTENTS


- 植生改善プロジェクト植生調査結果報告 ― 1～4
- 第109回 釧路種馬共進会 ― 5
- 日本獣医生命科学大学訪問 ― 6
- 日本獣医生命科学大学の学生による感想文― 6～8
- 外国人技能実習生受入対面式 ― 8
- 第16回祭りinほろろ ― 9
- ＪＡくしろ丹頂音別年金友の会総会・親睦旅行 釧路管内ＪＡ野球大会３連覇達成 ― 10
- 普及センターだより ― 11
- ＪＡグループ通信 ― 12
- ＪＡ北海道大会パネルディスカッション ― 13～14
- 理事会報告/生乳生産実績/厚生連からのお知らせ― 15

三連覇 達成 !!（管内JA野球大会）

調査の様子（H30.5.21 鶴居地区）

ＪＡくしろ丹頂　植生改善プロジェクト

# 植生調査結果

調査年月：平成28年５月～平成30年６月

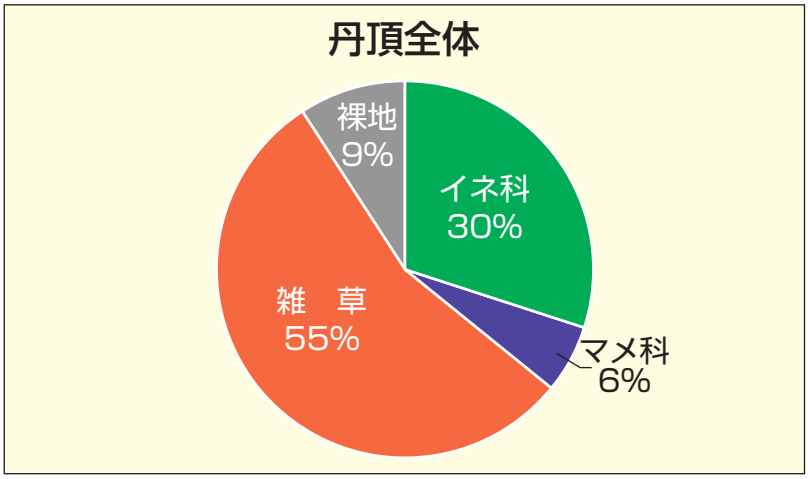
調査機関：各市町村、農業改良普及センター、ホクレン、ＪＡ

４地区の草種ごとの冠部被度を調査した結果の積み上げ、各地区の植生の特徴についてまとめました。全地区にて対象圃場すべてを調査した結果、いずれの地区でも雑草が牧草に対して優勢な状態となっております。これにより植生改善に取り組む必要性が明らかになりました。

※冠部被度：上から見て、その草種が地表を被っている割合（%）

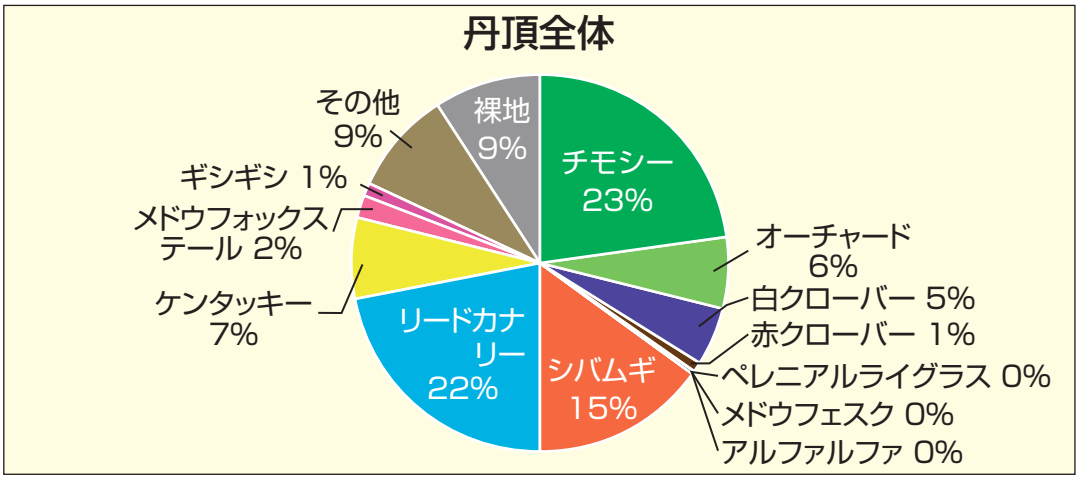
## 1 ＪＡ全体の調査結果　２,４３７か所の平均値

＊ＪＡ全体の平均では、イネ科、マメ科合わせた牧草が36%でした。




＊草種ごとの内訳

雑草対策として導入したものを含めてオーチャードグラスが６%程あり、３回刈りが実施される圃場もあります。




（注：0%は0.5%未満）以下同じ

## 2 各地区における調査結果

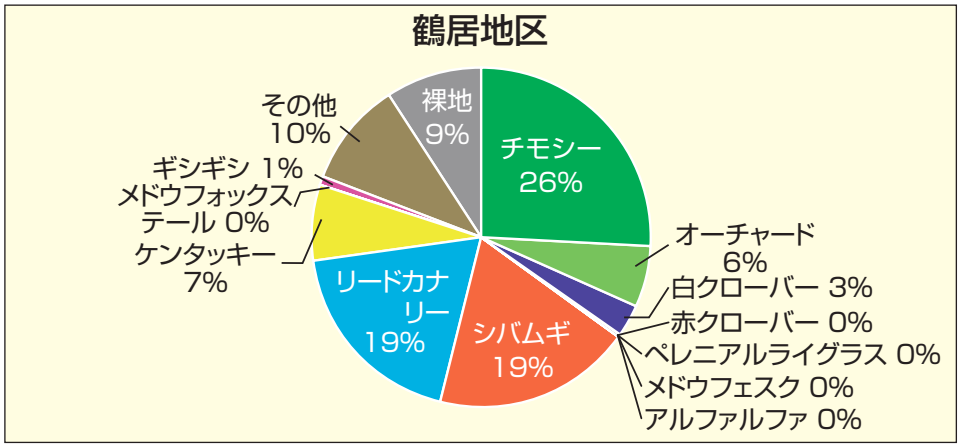
### ●鶴居地区　646か所の平均値

＊平均では、イネ科、マメ科合わせた牧草が約35%になりました。

＊草種ごとの内訳

シバムギ、リードが共に19%となり、それらを含む雑草が２分の１以上あることが分かりました。調査対象圃場が釧路湿原に接した地域を含み、リード及び湿地系雑草（その他10%）の割合が高い状況です。

シバムギは、スラリーに多いカリウムを吸収すると増えやすくなる傾向があり、マメ科牧草も３%と少なく、スラリー散布が多い地区の特色が現れました。



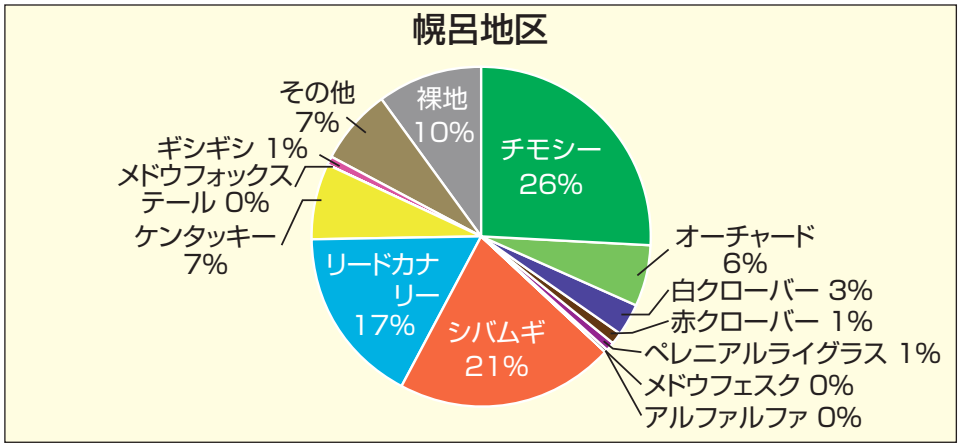

### ●幌呂地区　471か所の平均値

＊平均では、イネ科、マメ科合わせた牧草が約37%になりました。

＊草種ごとの内訳

雑草ではシバムギが21%で全体の２割を超えていることが分かりました。

鶴居地区と同様、大規模経営体からのスラリーの影響か、比較的シバムギが多くクローバーが少ない状況です。一部、雑草対策としてペレニアル、オーチャードの作付けに取り組んでいる圃場があることが数字で表れております。

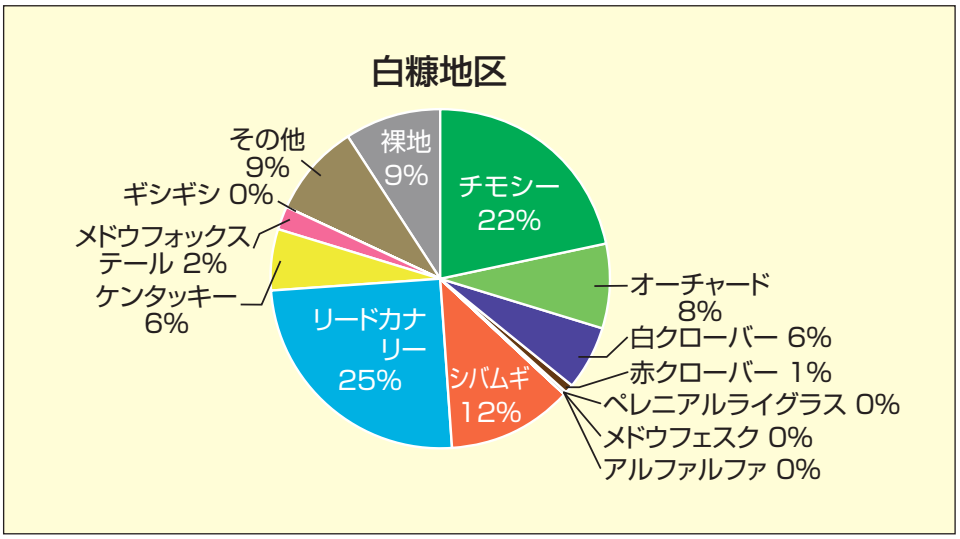


## ●白糠地区　９３２か所の平均値

＊平均では、イネ科、マメ科合わせた牧草が約38％になりました。

＊草種ごとの内訳

雑草では湿地に強いリードカナリーグラスが25％と約４分の１あることが分かりました。オーチャードグラスグラスが８％と、定着しつつあるようです。

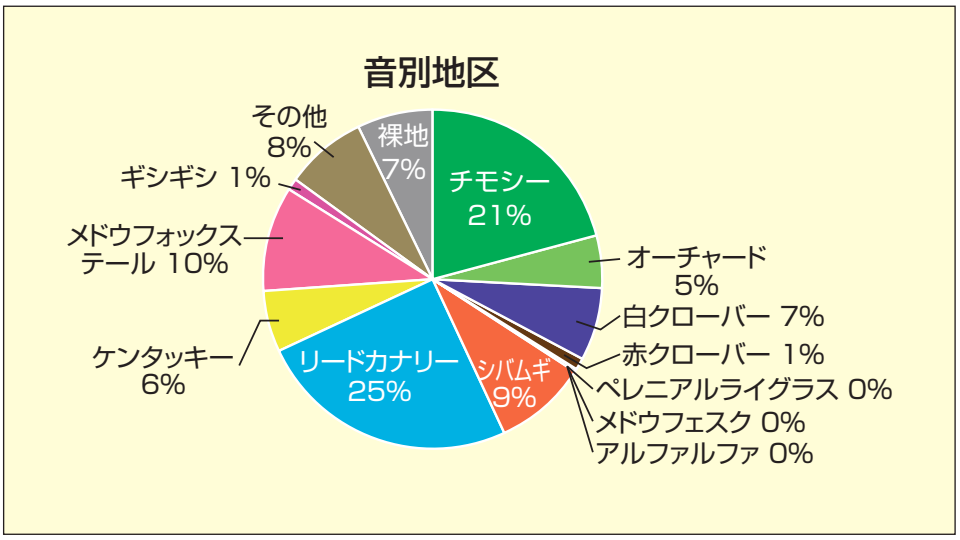



## ●音別地区　３８８か所の平均値

＊平均では、イネ科、マメ科合わせた牧草が約34％になりました。

＊草種ごとの内訳

雑草ではリードカナリーグラス25％と軍馬補充部時代に播種され現在最も注意すべき強害雑草とされるメドウフォックステールが10％と合わせて３分の１以上あることが分かりました。



## 3 データまとめ

| 地区 | チモシー | オーチャード | ペレニアルライグラス | メドウフェスク | 白クローバー | 赤クローバー | アルファルファ | シバムギ | リードカナリー | ケンタッキー | メドウフォックステール | ギシギシ | その他 | 裸地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 鶴居地区 | 25.6 | 5.8 | 0.3 | 0.2 | 3.1 | 0.3 | 0.02 | 19.4 | 18.7 | 7.3 | 0.4 | 0.4 | 10.1 | 8.7 |
| 幌呂地区 | 25.7 | 5.5 | 0.8 | 0.09 | 3.4 | 1.4 | 0.3 | 21.3 | 17.3 | 6.7 | 0.1 | 0.6 | 7.3 | 9.7 |
| 白糠地区 | 22.2 | 7.8 | 0.3 | 0.34 | 5.8 | 1.5 | 0.1 | 11.6 | 24.6 | 6.0 | 1.6 | 0.5 | 8.8 | 9.0 |
| 音別地区 | 20.7 | 5.5 | 0.3 | 0.1 | 6.7 | 0.5 | 0.1 | 8.7 | 25.2 | 6.1 | 10.4 | 0.6 | 8.2 | 7.0 |
| 丹頂全体 | 23.5 | 6.4 | 0.4 | 0.2 | 4.8 | 1.0 | 0.1 | 15.1 | 21.7 | 6.5 | 2.4 | 0.5 | 8.8 | 8.7 |

## 4 調査まとめ

今回の調査により全対象圃場が調査済みとなり、地区全体の傾向がつかめてまいりました。

今後も調査を継続し、植生状況の変化を随時把握しつつ、同時に農家個別の対応を進め、植生改善に役立てます。

### ●地区毎の特徴

**①鶴居地区**・・・牧草ではマメ科が3.4％と少なく、雑草ではシバムギ、リードの他に湿地系の雑草も目立つ。

**②幌呂地区**・・・鶴居地区と似た状況で、両地区ともにフリーストール牛舎からのスラリーによる影響が表れている。

**③白糠地区**・・・牧草では、マメ科が7.4％と４地区で最も多く、雑草では湿地に強いリードカナリーグラスが24.6％と多い。

**④音別地区**・・・強害雑草のメドウフォックステールが10.4％と目立ち、リードカナリーグラス25.2％とともに全体の３分の１以上を占める。雑草全体でも、４地区の中で最も高い59.2％となった。

**調査により得られたデータを基に、地区・農場に合った植生改善対策に活用しましょう。**

# 第109回　釧路種馬共進会

## ～管内から多くの出品馬が集い資質を競い合う～

審査員：
山下 大輔 氏

7月23日、釧路市大楽毛・釧路農協連共進会場で、第109回釧路種馬共進会が開催されました。

管内4JA（標茶、阿寒、摩周湖、丹頂）から、計26頭の出品馬が集まり資質を競いました。

審査員は山下大輔氏（公益社団法人 日本馬事協会業務部参事）が務め、第1部1才雄馬から第7部ポニー2才以上雌馬までの各部を審査しました。

当JAからは計8頭が出品され、各部で優秀な成績を収めました。審査の結果、最高位賞はJA阿寒・三宮久蔵さんの出品馬「サンノハヤヒメ」（5部・3才以上雌子付き・日本輓系種）がみごと選出されました。

主な成績及び出品者は表のとおりです。

「栄　華」 江崎　勝三 氏 （白糠）

「春　風」 佐藤　浩一 氏 （音別）

「大　知」 松井　紀行 氏 （幌呂）

「花　姫」 小野田 喜一 氏 （音別）

**入　賞　馬　一　覧**

| 部 | 順位 | 名　号 | 品　種 | 出品者（地区） |
|---|---|---|---|---|
| 2部 | 1等 | 栄　華 | 日本輓系 | 江崎　勝三（白糠） |
| | 3等 | 松　姫 | 日本輓系 | 小野田喜一（音別） |
| 3部 | 1等 | 大　知 | 日本輓系 | 松井　紀行（幌呂） |
| 4部 | 2等 | 藍　桜 | 日本輓系 | 小野田喜一（音別） |
| | 2等 | 栗　姫 | 日本輓系 | 江崎　勝三（白糠） |
| 5部 | 3等 | 春　風 | ブルトン | 佐藤　浩一（音別） |
| 6部 | 1等 | 花　姫 | 北海道和種 | 小野田喜一（音別） |
| | 2等 | 第二野菊 | 北海道和種 | 小野田喜一（音別） |

# 日本獣医生命科学大学を訪問 セミナー等開催

6月7日、坂本参事、西村営農部長、田中営農相談課長、辻田家畜改良係、對木賢雅青年部長の5名が日本獣医生命科学大学を訪問し、産学連携協定事業の一環として農業に関するセミナー等を実施しました。

坂本参事より「新規就農」、西村営農部長より「当JAの概要及び酪農情勢」、辻田家畜改良係より「家畜人工授精師業務」、對木青年部長より「自らの経験から伝えられる酪農の良さ・魅力」等について解りやすく説明しました。

説明する對木青年部長

参加した約60名の学生は、初めて知る酪農の現状、実習の受け入れや新規就農、担い手対策、また農業の良さ魅力等について真剣に聞き入り、農業に対する関心の深さが見受けられました。セミナー後は学生との意見交換会を実施し、質問・意見が多く出され、意義あるセミナーとなりました。

尚、大学側からこのセミナーに参加した学生の感想文を提供して頂きましたので、その一部を2回に分けて掲載させて頂きます。

## 日本獣医生命科学大学の学生による感想文 No.1

①　今回の講義では、JAくしろ丹頂の方々からお話を聞きました。私は将来家畜に関わるお仕事をしようと思うことは少なかったのですが、今回のお話を聞いて少し家畜のお仕事について興味を持ちました。

近年の農業を取り巻く環境は、高齢化や後継者問題のほか、国際貿易交渉などによる将来不安を抱えています。動物が好きな人というのは、世の中で比べてみるとマイナーな方だと言われます。そんな中、動物が好きな人達が集まった私達がそういった問題を解決するかぎを握っているのだなと思いました。自分にも夢があるので、すぐに気変りするわけではないのですが、そういった地方農家が抱える問題を解決したいと思いました。これから先の実習などでたくさん経験をして、自分の将来について見直そうと今回の講義を聞いて思いました。

（1年生）

説明を受ける学生達

②　今回の講義では、JAくしろ丹頂の方々に話を聞きました。

JAくしろ丹頂の基本理念は、①組合員サービスを強化する運営方針の確立②組合員経済への貢献③自主・自立・民主的なJA経営の確立④地域社会への貢献、と4つのものがあ

ります。

現在の農業経営は、日々の搾乳作業や管理作業、牧草の収穫作業などに加え、規模拡大により、農家1戸当たりの飼育頭数が拡大し、家族労働だけでは完結しない雇用労働の調達を前提とする経営が増える農業経営へと変化しつつあります。雇用労働力の給源が脆弱化し確保が難しく、実習生を活用し労働力不足を補う農業が増加しているのが現状です。このことについて自分はとても大きな問題となっていることを初めて知り驚きました。しかし、それによって農業についての興味を持つことができました。夏の学外実習も考えたいと思います。

（1年生）

説明する坂本参事

③ 今回のお話を聞いて、酪農やそれに関わる仕事は大変だとともに、とてもやりがいのある仕事だと感じました。JAくしろ丹頂の概況のお話では、他の授業でも学んだ通り高齢化が進み、農家が減っていることを再度知りました。出荷乳量が規模拡大で増えているのに対し、高齢化等の理由で人や農家が減っている。これはとても大変なことだと思います。しかし、こうして私たちの前で現状を話してくださり、酪農を普及する活動は私たちにとっても入りやすく、有り難い話です。

また、OBの方の人工授精の話も知らない事がたくさんあったので、とても興味が湧きました。自分の行った人工授精による系統交配の結果が上手くいっているかどうかが一年後にわかるというのは、大変な時間と労力だと思います。

また、最後のお話で「実習をする時は目的を持つ」という言葉が心に響きました。確かに、目標や目的を持っていなければ、自分が何をしているのかを見出すことができません。実習へ行く時、そして将来働く時は、目的をしっかり持って行こうと感じました。

（2年生）

④ もともと持っていた北海道のイメージは、広大な土地を利用して、多くの牛を飼うというものでしたが、全ての農家さんがそういった状況なわけではないということが、みせていただいたデータからわかりました。毎年色々な細かいデータを収集する作業は大変なのではないかと感じましたが、今回の私のように数字を見なければわからないこともあるので、データを集めることは大切なんだと気付きました。お役職柄かもしれませんが、とてもはきはきとした話し方をされる人がほとんどで、自分ももう少し要点をはっきり伝えるような話し方ができるようにしたいと思いました。

人工授精師の資格を取りたいと考えているので、お話がきけて良かったです。想像していたよりもずっと

1頭にかかる時間が少なく、自分の仕事の結果を得るのには時間のかかる仕事だとわかりました。北海道の地名は読み方が難しかったです。

目的意識を持って取り組んでほしいというお話があったので、習慣づけるために毎日何か目標を立てて生活していきたいと思います。春に北海道へ実習に行きたいという気持ちが強くなりました。1年生がたくさんいたので、私も頑張らなくては、という気持ちにさせられました。

（2年生）

⑤　釧路は冷涼な気候で土地も広く、酪農に適しており、また、農家と釧路丹頂農業協同組合で協力しあって釧路の農業を支えてきたんだなと思いました。

しかし、近年では、農家の高齢化や後継者不足、農業の将来に対する不安から農業従事者が減少しているため、その対策をすることが課題となっている。釧路では、労働負担を軽減するために機械を導入したり、実習生を受け入れるなどの対策をしている。農業という職業が、もっと多くの人に知られるようになれば、農業従事者が増えるきっかけになるのではないかなと思いました。

家畜人工授精師の詳しい仕事を初めて聞くことができ、よかったです。自分が繁殖にたずさわった牛が生まれることは、すごくうれしいことなのだろうなと思いました。

（1年生）

# 外国人技能実習生 受入対面式

## ～各種講習会等実施で知識を深める～

7月10日、本所で、外国人（フィリピン）技能実習生受入対面式が行なわれました。

外国人技能実習制度によるこの事業は、平成22年から今回で8回目となり、受け入れをする鶴居2農場、幌呂2農場、音別1農場の代表者が、8名の実習生と対面しました。

実習生は8月9日迄の1ヶ月間、入国後講習を受講し、7月18日に釧路警察署による交通安全研修、19日に鶴居消防署で火災訓練や救命措置等について学びました。

今後、受け入れ農場及び実習生には有意義な実習期間となりますよう心からご期待致しております。

実際の標識を確認しながら学ぶ

# 第16回「祭りinほろろ」開催

## ～参加者全員で幌呂を熱く盛り上げました!!～

7月25日、幌呂農村環境改善センターで、第16回「祭りinほろろ」が開催されました。

藤澤実行委員長は「ようやく天候に恵まれ乾草作り等が今、盛んに行なわれております。参加者皆様のご協力で幌呂を熱く盛り上げて参りましょう。」と挨拶がありました。

会場では女性部による手作りの惣菜なども好評で、カラオケ大会などで大変盛り上がりました。

女性部手作り惣菜おいしい!!

挨拶する藤澤常行実行委員長

喜多島麻鈴さんによる歌謡ショー

小学生もカラオケで盛り上げました!!

射的で商品ゲーット！

会場内は大盛況!!

JA新人職員もカラオケ大会で熱唱！

ちびっ子カラオケによるステージ

# JAくしろ丹頂音別年金友の会 総会・親睦旅行

## ～親睦を深め楽しいひと時を過ごしました～

7月25日から3日間、JAくしろ丹頂音別年金友の会は、阿寒で第30回通常総会並びに親睦旅行を実施しました。

会員数291名のうち28名が出席し、阿寒湖温泉で通常総会が行なわれ、議案は全件承認されました。

総会終了後は、カラオケ大会などで会員同士の親睦を深め楽しいひとときを過ごしました。

2日目は、川湯相撲記念館や硫黄山、摩周湖などを見学し、思い出に残る親睦旅行となりました。

# 釧路管内JA野球大会 3連覇達成!!

7月21・22日の2日間、釧路市民球場で、釧路管内JA野球大会が開催され、7チームが出場し熱戦を繰り広げました。

丹頂野球部は、初日にホクレンと対戦し、西村、松崎、北村の投手リレーで24対2で勝利しました。

2日目準決勝は北農連と対戦し、高野主将が率いる選手全員が持てる力を出しての全力プレーにより11対1で勝利、決勝戦は阿寒と対戦し、鈴木郁也監督をはじめとする全員野球により、5対1で勝利し、みごと3連覇を達成しました。当日応援に来て下さった皆様方、ご声援ありがとうございました。

9月に江別市で開催される全道大会では釧路管内の代表として全力で頑張って参ります。

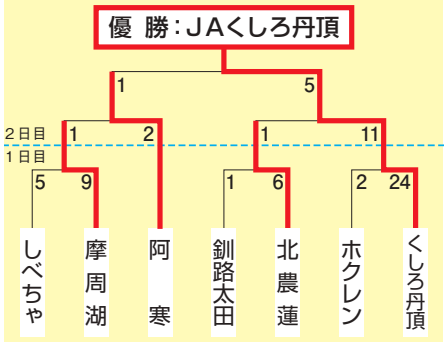
力投した北村正樹選手

最優秀賞獲得 松崎勇人選手

**表彰者（丹頂のみ掲載）**

| | |
|---|---|
| 最優秀選手賞 | 松崎勇人 |
| ホームラン賞 | 西川健 |

**大会結果**



# 省力化技術パート①
## ～搾乳ロボットの導入～

北海道酪農では、労働負担を軽減する省力化機械の導入が進んでいます。中でも、搾乳ロボットの導入戸数は191戸（平成29年度）で、全道酪農戸数の3％です。「畜産クラスター事業」において、搾乳ロボットが事業対象になったことから、今後も導入する酪農家が増えると考えられます。

### 1. 搾乳ロボットの導入状況

全道の平成23年時点の搾乳方式は、パイプラインミルカー方式が6割を占め、（表1）導入後も既存の搾乳方式を併用している農家が6割以上あります（表2）。つまり、導入農家の4割は、搾乳ロボットで搾乳を行う一方、つなぎ式牛舎でも搾乳を継続しています。搾乳ロボット導入は、省力化だけではなく搾乳頭数の増頭が目的であると考えられます。

表1　導入前の搾乳方式

| 搾乳方式 | 導入戸数 | 割合(%) |
|---|---|---|
| パイプラインミルカー | 120 | 62.8 |
| ミルキングパーラー | 61 | 31.9 |
| 搾乳ロボット | 3 | 1.6 |
| その他（無回答） | 7 | 3.7 |
| 計 | 191 | 100 |

（平成23年調査開始時）

表2　導入前の搾乳方式

| 搾乳方式 | 導入戸数 | 割合(%) |
|---|---|---|
| 既存の搾乳方式を廃止、搾乳ロボットのみ | 44 | 23.0 |
| 搾乳ロボットと既存の搾乳方式を併用 | 120 | 62.9 |
| 搾乳ロボットと新たに導入したパイプラインミルカーを併用 | 8 | 4.2 |
| 搾乳ロボットと新たに導入したミルキングパーラーを併用 | 17 | 8.9 |
| その他（無回答） | 2 | 1.0 |
| 計 | 191 | 100 |

（表1,2は釧路総合振興局農務課より提供）

### 2. 事例：搾乳ロボット農家の作業内容

ここでは、作業の省力化を第一に追求した事例を紹介します。

釧路管内A農場は、平成29年につなぎ式牛舎での搾乳を中止し、新たに搾乳ロボットで搾乳を開始しました。Aさんは規模拡大に必要な従業員の確保は難しいと考え、搾乳ロボットを選択しています。

導入前後の作業内容で一番大きな変化は搾乳作業で、牛に触れる作業が無い代わりに、パソコンで健康管理や繁殖データを確認する作業が増えたことです（表3）。経営者の作業時間は変わりませんが、妻と父親の作業時間は減少し、全体の労働時間は導入前の三分の二に減少しています（Aさん談）。

表3　A農場の導入前後の作業内容

| | 導入前（搾乳牛40頭） | 導入後（搾乳牛100頭） |
|---|---|---|
| 5時～ | 給　餌 | 牛個別データ確認 |
| 6時～ | 搾乳（2時間） | ロボットへ牛を追込（1時間） |
| 7時～ | | 授精・治療準備、（搾乳牛給餌 TMRC） |
| 8時～ | 牛をパドックに出す | 哺乳、（乾乳牛給餌 TMRC） |
| 9時～ | 牛床清掃、哺乳 | 獣医・授精師対応 |
| 10時～ | | |
| 11時～ | | |
| 12時～ | | （搾乳牛給餌 TMRC） |
| 13時～ | 給　餌 | 機械整備・洗浄、育成牛管理 |
| 14時～ | パドックに戻す、育成牛管理 | 牛床清掃 |
| 15時～ | | |
| 16時～ | 搾乳準備 | 牛床清掃（乾乳牛）、牛個別データ確認 |
| 17時～ | 搾乳（2時間） | ロボットへ牛を追込（1時間） |
| 18時～ | | |
| 19時～ | パドックに出す、牛床清掃 | 哺　乳 |
| 20時～ | 哺　乳 | 牛の管理記録整理 |

全体の作業時間が減少した理由として、Aさんは以下を挙げています。

①搾乳ロボット以外に搾乳する場所は作らず、機械に合わない牛は淘汰した。

②牛の移動が一人で行えるよう乾乳牛の飼養場所を作った。

③エサ押しロボット導入と分娩監視カメラを設置した。

④給餌はTMRセンターに直接給餌してもらう。

### 3. 搾乳ロボットの技術目標

搾乳ロボット1台当たりの1日の搾乳可能量は2トンとされています。利益を最大限得るためには、搾乳ロボットに合った牛を揃えることが大切です。

現在、様々な飼養形態で搾乳ロボットが導入されています。導入にあたっては、将来の経営安定化に向けて、十分検討して下さい。

**～目標達成のための三ヶ条～**

①繁殖・健康管理データを理解し、飼養管理に活かす（パソコン管理）

②搾乳ロボットに合わない牛を積極的に淘汰する（不適応牛を減らす）

③搾乳ロボットに適した乳頭配置を考慮した種雄牛の選択

搾乳ロボットの導入に向けて（平成28年度北海道農政部）、Aさん聞き取り結果より

# JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

**各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。**

## JA北海道中央会

7月2日、平成31年度農業関係予算概算要求に向けた農林水産省との意見交換会を、4～5月にかけて各地区から寄せられた現場の意見を踏まえ、6月の各作目別対策委員会等で決定した、JAグループ北海道の政策提案に基づき行いました。

JAグループ北海道からは道連役員、JA組合長、青年女性組織代表者ら143名が参加し、農協組織基盤、基本農政、水田、畑作青果、酪農畜産の各対策について要望内容を農林水産省に伝え、意見交換を行いました。

今後も持続可能な北海道農業確立に向けて、生産現場の意見をしっかり国等に伝えて参ります。

## JA北海道信連

JAバンク北海道は、特殊詐欺被害が多発している現状を踏まえ、北海道警察と連携し被害防止への取り組みを実施しています。6月に実施した「年金感謝ウィーク」では、JAで年金をお受け取りされているお客様が来店した際、特殊詐欺に関する注意喚起の標語を印刷した「招福ようかん」をお渡ししました。また、ラジオ番組では電話でお金を要求された際に家族や警察に相談することを幅広く呼び掛けています。

## ホクレン

ホクレンのオリジナルブランド玉ねぎ「環（※めぐる）」と「真白（※ましろ）」の売り上げの一部が活動に役立てられているコープさっぽろの事業「第11回コープの森植樹祭」が、今年も5月から6月にかけて全道11カ所で開催されました。

環と真白1パック購入ごとに1円を「コープ未来（※あした）の森づくり基金」に協賛しており、2017年度は、約63万円の実績となりました。

## JA共済連北海道

JA共済連では、7月8日に札幌ドームで開催された「北ガスグループ6時間リレーマラソン」に有志34名が参加しました。他の企業も多数参加しており、JA共済連では「ひと・いえ・くるまの総合保障」を掲げ、職員が揃いのTシャツを着て一生懸命走ることで、JA共済を大きくPRしました。

今後もこのような活動を通して多くの皆さんに「JA共済」を知っていただくよう活動していきます。

## JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。

# ＪＡ北海道大会実践フォーラム
## ～パネルディスカッション～

テーマ「食と農でつながる550万人サポーターづくりと准組合員制度について」

「食と農でつながる550万人サポーターづくりと准組合員制度について」と題したパネルディスカッションの内容の最終回をご紹介します。

**宮入　隆 氏**
北海学園大学　教授

宮崎参事に伺いたいのですが、例えば総代会のような場で、ＪＡとして事業の中における准組合員の重みですとか、そういった部分への対策を具体的にお話してきてはいるのでしょうか。

**宮崎　俊章 氏**
ＪＡひがしかわ　参事
（事例発表者）

正直なところ、そこまで踏み込んではいないです。利用規制が打ち出されて、仮に利用が現在の半分になったら、今の事業がどうなるかなど、貯金の残高がどうなるかなど、事業的、経営的な観点から調べたことはあります。ただ、細かくは分析することはできていないので、もう一度考えてみる必要はあると思います。

**宮入教授**　各ＪＡにおいてひがしかわのような状況にあるのか、今日をきっかけに准組合員の問題をどう考えるかという議論が起これば思います。それでは最後に皆さんからお一言ずつお願いします。

**森　久美子 氏**
作家
農水省食料・農業・農村政策審議会臨時委員

私が准組合員になって良かったことは、将来の年金の受取口座をＪＡにした時、羊かんをもらえたことです。他にも例えばホクレンショップで割引になるなどのお得感があれば、もっと都市の准組合員も増えると思います。

金井さんのように准組合員になるメリットって何だろうといった疑問は皆さんが持つと思います。でも、何となく北海道の農業を応援したい気持ちもあると思います。先程の発表で、ガソリンスタンドでプレゼントを渡したという話がありました。私は高価なものでなくても、例えばきゅうり1本とかでも良いと思います。その代わり、リボンをつけて、また来てねというシールを貼ると、もらった人はすごく嬉しいはずです。きっとリピーターになってくれるでしょう。

北海道は加工品の原料をつくる農村地帯が多いので、北海道のものが材料に入っていることを意識して選んでくれる人を増やさなければならないと思います。そこで、農業の理解者である都市の准組合員を対象に、移動販売車を札幌にも走らせて欲しいです。毎週でなくても、週替わりで今週はこのＪＡというように変えて、車内には一品だけでもその町のものを置くという風に。

札幌の買い物難民の数は相当多いです。軒先や団地の前に来てくれたら、喜んで買う人が絶対にいます。そして、私たちのこと忘れないでくださいね、准組合員辞めないでくださいねと伝えると、ＪＡさんはあんな遠いところからでも野菜や牛乳を売りに来てくれた、私たち都市住民を見捨てなかったと思って頂けると思います。儲かる儲からないではなく、ＪＡの協同の力をアピールして、消費者を守れるかということが農協の課題ではないかと思います。

**金井　憧れ 氏**
アナウンサー
キャスト・プラス所属

当時あぐり王国を担当することが決まった時に、共演するチームナックスの森崎リーダーに「俺は東京で仕事が連続すると、北海道に早く戻って畑でエネルギーをチャージしたくなるんだ、憧れにも早くそうなって欲しい。」という言葉をかけられました。最初はその言葉の

意味がよく分かりませんでしたが、半年ほど番組を担当すると、畑のパワーを本当に実感して、今は東京にいますが、あの時のロケ楽しかったな、また畑に行きたいな、と強く思っています。あぐり王国は今年で10年目に突入しましたが、10年も毎週違う農作物、違う話題を取り上げて放送できるほどネタがある北海道農業は本当にすごいと感じますし、北海道物産展や北海道フェアにものすごい数の人が集まっているのを見ると、やはり北海道ブランドの力を感じます。これからも本当に新鮮できれいで、そしておいしい農産物、そして皆さんの熱い思いを全国に発信して頂きたいですし、私もできることがあれば何でも力になりたいです。本日は本当にありがとうございました。

**山口　敏文 氏**
**北海道生活協同組合連合会 副会長（事例発表者）**

北海道はまさに協同組合王国であり、協同組合は北海道の第一次産業の強さや豊かさをつくる根幹になっている存在だと思います。これだけ人類が科学技術で色々な成果を挙げた割には、貧困が拡大したり、地球温暖化が進行したりと、非常に希望が無くなってきています。そんな状況だからこそ、協同組合が、安心して暮らせる地域社会づくりに向けて、協同組合間の連携を小さい所から一つずつ積み上げていくべきです。助け合いの組織である協同組合の精神については中々理解が深まっていないと思います。そこを深める取組みを今日参加している皆さんにやって頂きたいですし、サポーターづくりの本質はそこにあると思います。

**宮崎参事**　協同組合を構成する組合員として、正組合員であっても、准組合員であっても、改めてもっと勉強し、理解を深めていくことが必要なのかなと最近感じます。協同組合の精神を新規で就農される方、後継される方、あるいは准組合員になって頂く方々にどう理解して頂くか、そういう教育の部分について取り組みをしていくことが必要なのかなと改めて感じております。

**高橋　和則 氏**
**ＪＡ北海道中央会　参事**

准組合員はＪＡの事業を支える一翼を担う意味で大切な存在だという認識を正組合員の方々に持って頂くことが大切と感じます。

サポーターづくりは、最終的に行動するサポーターを目指しております。准組合員の皆さんが行動するサポーターになると、ＪＡの事業利用規制は自分たちの生活権の侵害であると感じて頂き、事業利用規制を阻止する力として共に行動してもらえる動きに発展していくと思います。それが世論になると、国に対する力になっていくと感じますので、これからも取り組みを進めて参りたいです。

**宮入教授**　私自身、准組合員利用規制はありえないと思います。しかし、危機感を抱かなければいけない部分もあります。そのためにも、既存の准組合員の方たちと意識的に向き合って関わりを深める必要があると思います。その時、准組合員の方だけでなく、正組合員の方たちと話す場も重要です。皆さんも地元に戻った時、准組合員になるメリットとは何か、既存の准組合員の方々に何ができるのか、そこを意識的に考えることが出発点だと思います。今日のパネリストの皆さんのご意見には、色々なヒントがありましたので、これをきっかけにまずは地元でお話をして頂くことから始まると思います。パネリストの皆様、お忙しい中どうもありがとうございました。

たんちょう VOL・130 平成30年8月発行
■編集発行 釧路丹頂農業協同組合管理部管理課
■印刷 白糠印刷㈱

# 理　事　会　報　告

## 7月定例理事会　平成30年７月30日（月）

### 報告事項

1．専決事項及び諸会議について
2．各委員会・諸会議等について
3．６月末財務状況について
4．事業の実施処理状況について
5．平成30年度釧路丹頂農協研修生受入施設建設に係る一般競争入札の経過と結果について
6．第29回JA北海道大会議案作成に向けた、正･准組合員アンケートの集計結果について

### 付議事項

議案第１号　融資の承認について
議案第２号　平成30年度畜産･酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入）の承認について
議案第３号　固定資産の取得について
議案第４号　平成30年度釧路丹頂農協研修生受入施設建設に係る契約の締結について
議案第５号　諸規程等の一部変更について

### その他協議事項

1．第３次地域農業振興計画・ＪＡ中期経営計画策定に係る組合員意向調査の結果について
2．次期生乳計画生産対策（平成３１年度～）に係るＪＡの意見集約について
3．当面の業務日程について

| ■平成30年度 | 生乳生産実績（７月） | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 月計乳量（kg） | ７月前年比(%) | 累計乳量（kg） | 累計前年比(%) |
| ＪＡくしろ丹頂 | 8,905,609.0 | 105.2 | 35,115,401.5 | 104.2 |
| 鶴居地区 | 3,253,711.5 | 106.9 | 12,872,722.6 | 107.7 |
| 幌呂地区 | 2,334,949.1 | 103.9 | 9,069,798.2 | 101.7 |
| 白糠地区 | 1,772,335.4 | 101.1 | 7,040,790.1 | 100.7 |
| 音別地区 | 1,544,613.0 | 109.0 | 6,132,090.6 | 105.4 |
| 管内計 | 46,423,468.9 | 101.5 | 182,597,488.3 | 101.4 |
| （前年度管内計） | 45,757,083.5 | | 180,030,523.7 | |

## 編集後記
EDITOR'S NOTE

□今後秋にかけて日本及び北海道に上陸する台風は、毎年酪農の世界にも甚大な被害をもたらします。大型台風の影響は、強風によるデントコーンの倒伏や折損、施設への被害、停電による生乳の廃棄、草地・デントコーン畑への土砂流入や流出・冠水被害など想像を絶する被害が今後も想定されます。過去の経験等から得られた教訓を生かしつつ、個人や地域で必要となる災害への備えが急務となって参ります。